

バイエルン独日協会よりのお知らせ

バイエルン独日協会はルートヴィッヒ・マクシミリアン大学日本センターとの共催で、以下のとおりビジネス・ランチョンを開催いたします。

Business Luncheon

日時：2016年10月6日（木）12時～14時

於：ヒルトン・パークホテル、Am Tucherpark 7、チボリの間 (Raum Tivoli)

この昼食会はミュンヘンとその周辺の日本企業の経営者と、日本に関するビジネスに携わるバイエルン州企業の経営者との間の情報・意見交換の場として役立っております。バイエルン独日協会や日本人会の会員、また日独交流に興味をお持ちの方もぜひお越しください。ご参加をお待ちしております。

昼食会での講演

講演者：柳 秀直 在ミュンヘン日本国総領事

テーマ：「外国人旅行者への日本の開国」

司会：ユルゲン・ベッテン Jürgen Betten

講演内容：安倍総理は、2012年12月の就任後、特に外国人旅行者に対して日本を更に開国することに取り組んできた。中でも日本政府は、アジアのいくつかの国の査証条件を緩和あるいは部分的に廃止している。同時に、外国人旅行者がより簡単に観光名所を訪問できるように、外国人観光客向けの外国語表記の標識が日本で更に整備されてきている。これらの施策や円安の効果もあって、2013年から2015年の外国人旅行者の数はほぼ2倍となり、2015年にはその数は47.1%増の2000万人弱となった。

一方で、英仏からの旅行者数がそれぞれ25万8500人（17.5%増）と21万4300人（20.0%増）であったのに対して、ドイツからの旅行者は2015年には16万2600人（15.9%増）と、比較的少なかった。国人口を考えればドイツは明らかに大きなポテンシャルを有している。考え得る理由について、講演者である柳総領事が説明することとなる。

講演者：柳秀直在ミュンヘン日本国総領事

1982 年まで東京大学にて国際関係論を学ぶ。1982 年の外務省入省後、1983 年から 1985 年までコンスタンツ大学に留学。その後、ウィーン、ボン、ニューデリー、ベルリンの日本大使館にて勤務。日本に帰朝後は、2010 年から 2014 年まで、様々な部局にて勤務し、2014 年 4 月より在ミュンヘン総領事。

お申込み：2016 年 10 月 6 日の昼食会にご出席くださるか代理人をお送りくだされば大変うれしく存じます。9 月 30 日までにファックス(089-2289598)あるいはメール (djg-muenchen@t-online.de)で欠席のお返事をくださるようお願い申し上げます。

費用：昼食費 40 ユーロ（ミネラルウォーター、コーヒー付き）は 10 月 1 日までに以下の口座にお払い込みください：

Deutsch-Japanische Gesellschaft in Bayern e.V.

IBAN: DE 7970 0800 0003 3164 2700